
虚無の歌

嘩月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

虚無の歌

【Nコード】

N3798J

【作者名】

嘩月

【あらすじ】

――
――
――
――
――
――

汚い声で鳴いたあの暗い夜の日
私は意識無くす迄

貴方達は欲望爆ぜる獣でした
駆ける私を喰らうの

ら らら ら

灰暗い空の下

ら らら らん ら ら

爪を立てて抗うわ

咽が痛い程 泣き叫んでも

恐怖の口枷が刻む

ざらついた 舌を這わす

もう何も解らない

何も 知らず なのに………！

薄れた意識で思い出す暗い夜の日
脳裏に媚びりついて

楽しかった記憶は侵食されていく

虚な私を蝕む

「目覚め」

ら らら ら ら

薄ら明かり部屋の中

ら らら らん ら ら ら

爪を立てて狂うわ

記憶に残ってる 歓喜の輪の中
冷たい声が響いてる

ざらついた 笑みを見る

何故見下ろしてる

何の 為に 笑う………！

「夜、残る」

適当に吹かせる歌

何か詩があるわけでもない

苦し紛れの歌よ

らん らら ら ら

ら らら ら ら

紅と白の斑部屋

ら らら らん ら ら ら

鳴き泣き笑い狂うわ

虚無に還る 私と言う存在
消えて逝く意識

ざらついた 笑みを見る
何故まだ此処に残る
何を 歌う 笑う………！

「眠る」

ら らんら らら らら
あの夜

ら らんら らら らら
終わる夜

ら らんら らら らら
狂う夜

ら らんら らら らら

「らんら」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3798j/>

虚無の歌

2011年10月9日23時25分発行